

## 総合実践演習 (2単位)

根岸寛光・雨木若慶・岡島秀治・河合義隆・小池安比古・小島弘昭・篠原弘亮・杉山信男・  
 担当者氏名 長島孝行・馬場 正・本橋 強・森田茂紀・山口正己・名越時秀・丹羽克昌・乗越 亮・  
 平野 繁

### ◆学習・教育目標

指導教員が学内外で開講する農学に関連する実験、実習、特別講座等の課題の設定、準備並びに実施に、指導教員あるいは指導教員に委嘱された研究者の指導に従い、補助的に参加または担当することにより研究能力や職業的指導力を高める。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

農学                      食糧生産                      生命科学                      生命機能  
 エコロジー                      マネジメント

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	課題設定と計画作成 (1)	指導教員と実施する実験・実習・講演等の課題について検討し、それぞれについての実施計画を作成する	指導教員および自らが専門とする領域やその周辺領域において実施される実験・実習・講演等について、自らが指導的役割を果たしたりそれを補助することにより、自らの研究能力だけでなく指導力を向上できるように努める。また、実験・実習・講演等の実施に際して、その準備段階での作業や更なる補助作業従事者への配慮等についても十分把握することが望ましい。
2	課題設定と計画作成 (2)	実施する実験等について自分自身が何処までの関与を行うかを確認し、担当部分を明確にする。	
3	実験の準備	指導教員の監督の下で実験に使用する機器・器具や薬品等を準備し、作業手順等をマニュアル化するなどして実験の実施に際して滞りが起こらないようにする。	
4	実験の実施	指導教員立ち会いの下、当初策定した計画に基づいて実験を実施し、参加者に対してその意図・材料および方法・結果のとりまとめ考察方法を指導する。	
5	実験終了後の評価	実験参加者の実施状況を把握するとともに、その理解度等について指導教員とともに評価する。	
6	実習の準備	指導教員の監督の下で実習に使用する機器・器具等を用意し、作業手順等を明確化して円滑な実習が行われるように準備する。	
7	実習の実施	指導教員立ち会いの下、当初策定した作業手順により実習を実施し、参加者に対して実習の内容やその意図を明らかにし、作業が円滑に進められるよう指導する。	
8	実習の評価	実習参加者の作業進捗状況を逐次把握するとともに、終了後その理解度等について指導教員とともに評価する。	
9	講演の準備 (1)	指導教員の指導の下、講演内容について精査を行い、使用する図表の作成や写真等の収集を行う。	
10	講演の準備 (2)	作成・収集された図表や写真等について、講演用資料にとりまとめ、講演が円滑に進行するように準備する。	
11	講演の準備 (3)	講演実施に先立ち自らの担当部分を明らかにするとともに、内容や時間枠について十分な確認を行う。	
12	講演の準備 (4)	自らの担当部分について講演の予行演習を実施し、主旨	

13	講演の実施	の伝達度合いや映写資料等の明確性について指導を受ける。	
14	講演に関する評価	指導教員の講演を補助するとともに自ら講演を行うなどし、講演内容が参加者に円滑に伝わるよう努める。	
15	総合評価	自ら講演を実施した部分について指導教員からの評価を受け、改善点を明確にする。	
		これまでに実施した実験・実習・講演について、指導教員から総合的な評価を受け、指導力等についての改善を進める。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

\_\_\_\_\_/\_\_\_\_\_/\_\_\_\_\_(\_\_\_\_\_)\_\_\_\_\_

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

\_\_\_\_\_/\_\_\_\_\_/\_\_\_\_\_(\_\_\_\_\_)\_\_\_\_\_

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

実験・実習等の教育姿勢や報告書などから評価する

◆オフィスアワー

各授業担当教員の授業実施後1時間

◆その他受講上の注意事項

\_\_\_\_\_